

(26) ごぼう

ア 各病害虫の防除

角斑病、黒斑病

紫紋羽病

黒斑細菌病

根腐病

アブラムシ類

ネキリムシ類

ヒョウタンゾウムシ類

センチュウ類

ア 各病害虫の防除

【留意事項】

(□は総合防除計画に掲載している病害虫)

角斑病、黒斑病

(耕種的・物理的防除)

- 1 高温、多雨で発生しやすいので、密植を避け、風通しを良くする。
※新しい種子を用いるときは、50℃の温湯に10分間浸漬後すぐ風乾する。

紫紋羽病

(耕種的・物理的防除)

- 1 発病ほ場では2年以上イネ科作物と輪作する。

黒斑細菌病

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 薬剤を散布する。

根腐病

(耕種的・物理的防除)

- 1 3年以上輪作する。

アブラムシ類

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 気門封鎖剤を散布する。
- 2 薬剤を散布する。

ネキリムシ類

・[共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 4月下旬から5月上旬にかけて下記薬剤のいずれかを散布又は土壌表面株元処理する。

ヒョウタンゾウムシ類

(耕種的・物理的防除)

- 1 成虫を捕殺する。

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

- 1 発生初期に薬剤のいずれかを約10日間隔で散布又は株元散布する。

センチュウ類

(薬剤防除) [農薬登録情報](#)

・[共通防除の章の資材・苗床・本ぼの消毒の項](#)を参照する。